【個 人】　　提　出　　平成 31 年４月 19 日

山　行　報　告　書

山行報告者：今 田

山　域・山　名：　**甲斐駒ヶ岳**　黒戸尾根ルート　ピストン　　山梨県北杜市	
入山日：2019 年　４月 12～14 日　(日)　前夜発　１泊２日　　帰宅予定日：４月 14 日	
プラン担当者　正：今田　副：	
参加者	L：今田　報：　　記： 加藤、他１名 男２名 、　女１名、　計３名
雨天中止・順延の連絡：月日（　） 13 時までに（メール）で連絡。	
４月 12 日(金)	集合時間：22：00　　集合場所：　上尾駅東口セブン周辺
４月 13 (土)	22:10 発→中央高速須玉 IC→竹宇駒ケ岳神社駐車場 1:00 着、仮眠朝食→5:30 駐車場 9h→15:00 七丈小屋テント設営
４月 14 日 (日)	4:30 起床、朝食 5:30 七丈小屋テント撤収→13:30 駐車場　→中央高速須玉 IC →19：40 頃上尾着　　登り 9h、降り 8h
共同装備：　ツエルト（各自　）　スコップ（今田　）ロープ（今田） 13 日夕食（加藤） 個人装備：　（テント、シュラフ一式マット、銀マット）ヘッドランプ、雨具、防寒衣、ピッケル、アイゼン、手袋、テルモス、新聞紙、ごみ袋、目出帽、ゴーグル、ストック、バーナー、コッフェル、カラトリー、地図、コンパス、ナイフ、ラジオ、あればテントシューズ、簡易ハーネス、環付カラビナ、ヘルメット ワカン 個 人 食：13 日朝食、昼食　14 日朝食、昼食、行動食　非常食	
感想	駐車場に到着し、仮眠を取り朝食の準備をしていると大変なことに気づいた、いつもヘッドランプは予備を含め２個持ってくるのだが１個失念していた。さらにヘッデンの電池が風前の灯であった。加藤さんに事情を話すと、「予備の電池があるから大丈夫ですよ」電池をお借りして事なきを得たが、重要装備を忘れるとは何たる失態。神社で安全祈願し、1600m 付近からアイゼンを装着した、雲ひとつ無く晴れ渡り、静かな山歩きであったが雪は気温の上昇とともに歩きにくくなった。テント場に到着すると素晴らしい展望で、うなりながら雪を踏み固めテントの準備を行った。山頂周辺の凍って光る斜面が我々を拒んでいるようなので翌日はテントを撤収して下山することにした。小屋の前でロープワークをおさらいし、クサリ場ではロープを使って懸垂下降 黒戸山のトラバース道ではワカンを装着、さくさくと快適に歩いた。刃渡りでアイゼンに変更、尾根道ではまたワカンと装備の脱着が早くなった。沢音、祭りのお囃子が遠くに響き、山行の終了が近づいた。雪の黒戸尾根から、たくさんのことを学ばせていただき、冬に訪れたい山が一つ増えた。神社で無事下山できたことに感謝するとともに再訪を誓い帰路に着いた。	